



我孫子 洋昌 議員

商工業の減少対策にスピード感を

町長 情報収集をしっかりとやっていきたい

2期目の町政運営

質問 ①町長に投票しなかった町民にも丁寧な政策を説明し、まちづくりを共に行うべきではないか。
②どのように議会と向き合うのか。

町長 ①可能な限り多くの町民と話し合える場を作り、意見を反映したい。
②町民の意見等を反映し、十分検討、熟慮を重ね、丁寧な説明を心がけ提案したい。

町の将来像について

質問 ①SDGsに関連して町長が掲げる「2030年下川町のありたい姿」(以下「ありたい姿」)実現のため、町民や事業者が主体性を発揮するために必要な人材確保、人材育成、事業者支援の方針は。②「旧一の橋小学校における菓子製造施設整備事業」の今後の対応方針は。

町長 ①SDGs未来都市などの優位性をいかし、更なる人材誘致を進めたい。

事業者へは「ありたい姿」の普及活動に力を入れたい。
②運営形態や町の関わりを熟慮し、然るべき時期に御説明、再提案したい。

商工業の規模縮小対策

質問 ①町内商工業の減少による町民生活への影響の認識②これらの対策における商工会との連携の方針は。
③在宅の高齢者や障がい者の買い物支援の方針は。

町長 ①消費生活における機会や選択肢の減少、労働の場や所得の減少など様々な影響を及ぼす可能性がある。②情報の共有や課題の洗い出し、対策の検討など、緊密な連携を図る方針である。③中小企業の主体的な経済活動を基本に、商工会と連携を密に取りながら検討したい。

再質問 廃業前や直後に町が対策を打てないのか。

副町長 事前の対策はなかなか無いと思うので、廃業が無いような配慮を重ねたい。

再々質問 スピード感を持

った対応が必要だが、町の取組は。

町長 情報収集をしっかりとやっていきたい。買い物支援も、現状を把握して、次の展開を図りたい。

再々質問 既存産業の事業拡大や新規企業を支援する役割は、クラスター推進部にも持たせているのではないか。町はクラスター推進部の機能強化について指導、助言をしているのか。

町長 現在集約中の評価を踏まえ、クラスター推進部の今後のあり方を協議したい。

人口流出対策について

質問 ①働く世代が町外に流出することによる影響は。②働く世代が町内に残っていくための方策は。

町長 ①産業の低迷、消費の減少など経済的な影響のほか、消費環境の悪化など社会的な影響もあると認識している。②産業活性化支援機構が、特に移住直後の不安や悩み、心配ごとなど

に対して、気兼ねなく相談

できる体制を構築している。また、毎月一回、交流会(タノシモカフェ)を開催し、情報交換や人脈の形成の場を提供している。

再質問 移住者の困りごとの一つとして、病児保育・病後児保育の進捗についてはどうか。

保健福祉課長 近隣町村の中では施設を持って受け入れ対応している所があるが、下川町としては、施設整備ではなく、町民が主体となって安心して子育てができる「ファミリーサポートセンター」を含むサポートシステムの構築を検討中である。それに対する支援についても考えなければならぬ。

再質問 まちづくりを進めていくためには、選挙戦で生じた分断を解消し、町民が一枚岩となって取り組まなければならないのではないか。

町政運営のためには、あらゆる立場の方からも協力が得られるよう、町長自らが動くことを期待する。